

平成29年度教育事業
曾爾ボランティア養成研修 第2回
自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業



1. 趣旨

施設ボランティアを養成するとともに、全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者(NEALリーダー)を養成する。

2. 実施日

10月7日(土)～10月9日(月) 2泊3日

3. 対象者

曾爾ボランティア養成研修

ボランティア活動や青少年教育、自然体験活動に興味がある高校生以上

NEALリーダー養成事業

自然体験活動の指導者になりたい、あるいは興味・関心のある方

4. 参加者 / 募集定員

17名 / 20名(申し込み者24名)

5. プログラム(要約)

「ボランティア養成研修」として、自然体験活動を支援するために必要な資質の確保とボランティア活動の意義や知識・技能の習得を目指すとともに、施設ボランティアの役割やボランティア活動の魅力を伝えることを目的に、施設の使い方や様々な野外活動の実施方法、安全管理など、ボランティアとして今後必要な力を「体験」を通して身につけることができるプログラムを実施。また、「自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業」として、青少年教育のナショナルセンターとして体験活動指導者の養成・資質向上の機会の充実を重点事項として掲げ、全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、講義・演習等織り交ぜながら、2泊3日の日程で、ボランティア並びに、自然体験活動指導者の養成を行った。

スケジュール

10月7日(土)

ガイダンス

「アイスブレイク」

「青少年教育における体験活動」

「ボランティア活動の意義」

「自然体験活動の技術①(フォトテーリング)」

「自然体験活動の技術②(食材争奪野外炊事)」

10月8日(日)

「自然体験活動の特質」

「自然体験活動の指導」

「対象者理解」

「自然体験活動の技術」

10月9日(月)

「安全管理」

「青少年教育施設の現状と運営」

「青少年教育施設におけるボランティア活動」
講習のまとめ・認定試験・ボランティア登録

《講師》

天理大学体育学部体育学科講師 蓬田 高正

冒険教育プランナー 益田 悦子

赤十字社奈良県支部救命救急法指導者 今井 啓之

国立曾爾青少年自然の家職員

【1日目】10月7日(土)

高校生(10代)から社会人(60代)までの参加者17名が集まり、2泊3日のボランティア養成並びに自然体験活動指導者養成が行われた。

まず、アイスブレイクで自己紹介等を行いながら、参加者同士交流を図った。その後、ボランティア活動や自然体験活動を実施するにあたり必要となる「青少年教育における体験活動」や「ボランティア活動の意義」等について、天理大学 蓬田高正氏から、現代の子どもたちの課題や育みたい力など、個人の意見やグループの意見を出し合いながらワークを行った。



ワークの後は、班に分かれ、フォトテーリングを行い、安全管理や子ども(対象者)の立場に立った視点など、自然の中での活動について体験を通して学んだ。

夕食は、「食材争奪野外炊事」を行い、じゃんけんで勝った班から食材選びを行い、手に入れた食材をもとにメニューを考え、「野菜いため」や「煮込みうどん」、「オムチャーハン」など、各班オリジナリティあふれるメニューが完成した。



【2日目】10月8日（日）

自然体験活動の特質や技術の講義・演習においては、自然体験活動を意味のある活動にするため、様々なアクティビティ等を組み立てる「プログラムデザイン」について説明があり、ねらいの重要性やプログラムの流れ・構成について理解した。また、実際に小学校からプログラム作成及び指導を依頼されたという想定で、与件をもとに、自然体験活動の意義・効果を踏まえ、グループで1つアクティビティを選択し、企画した。

そして、企画した内容について、他の参加者を対象に、実際に指導を行い、良い面・改善した方がいい点などを出し合いながら企画をより良いものとした。

さらに、冒険教育プランナーの益田悦子氏から、「対象者理解」講義を受け、対象者を考慮した内容や指導の視点から、それぞれの班への評価や実体験をもとにしたアドバイスをもらい、さらに内容と学びを深めた。



【3日目】9月2日（金）

「安全管理」について、日本赤十字社奈良県支部救命救急法指導者 今井 啓之氏並びに蓬田氏から、心肺蘇生法やキャンプや自然体験活動等で起こりうる身近なケガや事故への対応について学習するとともに、自然体験活動における基本的な安全管理や具体的な事故事例を挙げながら、リスクマネジメントの意義、事故を未然に防ぐための手続き、事故を招く要因等についてワークを行った。

最後は、ボランティア登録、NEAL リーダーの認定試験を行い、3日間の事業を終了した。



6. まとめ

3日間の講義や演習を通して、ボランティアや自然体験活動指導者としての役割や必要な知識技術について理解するとともに、参加者同士のつながりを深めることができた。

参加者からは「じっくり時間をかけて、深い学びが得られた」「企画を考えることは難しかったけど、やりがいがあった」「参加者や指導者・ボランティアの視点で、様々なことを学ぶことができた」「様々な意見やアドバイスをもらい、自分たちでは気づけない部分に目を向けられて、楽しく学ぶことができた」など、改めて、ボランティアや指導者について考え、学ぶ機会となり、今後の活動につながる意欲的な感想、意気込みが多く聞かれた。

今後、参加者が、ボランティア、自然体験活動指導者として様々な場で活躍してくれることを期待するとともに、活躍の場やスキルアップの機会を提供していく必要がある。

（企画指導専門職 岡野 ころろ）